

# AVPU 評価・記録シート

一次評価用 | A / V / P / U の判定 → 異常時の安全確認 → 反応内容の記録

AVPUは意識レベルを素早く4段階で捉える一次評価です。詳細な神経学的評価の代替ではありません。刺激方法・急変対応は施設の手順を優先し、判定だけでなく「刺激条件 → 反応」を残してください。

## 1. A / V / P / U の判定

| 判定 | 名称           | 判定の中心                                         | 記録のポイント             |
|----|--------------|-----------------------------------------------|---------------------|
| A  | Alert        | 刺激前から十分に覚醒し、自発的に周囲とやり取りできる。完全な見当識は必須ではない。     | 刺激前の覚醒状態と自発的な反応を記録  |
| V  | Voice        | 刺激前には十分に覚醒しておらず、触れずに声をかけると反応する。反応は開眼・発声・動作など。 | どの声刺激で、どんな反応が出たかを記録 |
| P  | Pain         | 声刺激には反応せず、施設手順に沿った適切な刺激で反応する。                 | 刺激方法と、開眼・発声・運動反応を記録 |
| U  | Unresponsive | 声刺激にも、施設手順に沿った適切な刺激にも反応しない。                   | 使用した刺激と無反応であったことを記録 |

A / V の境界：「呼名したか」ではなく、「刺激前から十分に覚醒していたか」を軸にします。正常な睡眠中という理由だけでVとはせず、覚醒後に十分な覚醒とやり取りが保たれるかを確認します。

## 2. 判定の手順

| 順 | 行うこと     | 確認ポイント                                        | 記録          |
|---|----------|-----------------------------------------------|-------------|
| 1 | 妨げる条件を確認 | 睡眠、鎮静、挿管、失語、難聴など、反応の観察を妨げる条件を先に確認する。          | 評価条件を短く記録   |
| 2 | 観察       | 自発開眼、目的のある動き、周囲との自発的なやり取りを確認する。               | 刺激前の状態を記録   |
| 3 | 声刺激      | 必要なら呼名や簡単な指示を用いる。可能な範囲で、まず触れずに声への反応をみる。       | 声刺激と反応内容    |
| 4 | 必要時のみ刺激  | 声で反応しない場合のみ、施設手順に沿った適切な刺激を必要最小限で用いる。          | 刺激方法と反応内容   |
| 5 | 1段階に分類   | 観察された反応に基づきA / V / P / Uの1つを記録し、前回からの変化を確認する。 | AVPU＋反応を1行で |

## 3. V / P / U のときの次の行動

V：普段と違う、または原因不明なら全身状態を再評価します。ABCDE、バイタル、酸素化、血糖などを状態に応じて確認し、必要に応じてJCS / GCS等で詳細化します。

P / U：直ちにABCDEへ戻り、気道を含む緊急対応の必要性を判断します。施設の急変対応手順に従い、詳細な意識評価は安全確認と並行またはその後に行います。

## 4. 判定しにくい場面

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 正常な睡眠 | 睡眠中という理由だけでVとはしません。覚醒させた後、十分な覚醒とやり取りが保たれるかを確認します。           |
| 挿管・失語 | 発語できないことだけでP / Uとしません。声刺激への開眼・追視・従命・運動反応を確認し、発語困難の条件を併記します。 |
| 難聴    | 声刺激が十分に届かない場合はV判定に制約があります。触覚への反応をVと置き換えず、聴覚上の制約を記録します。      |
| 鎮静・薬剤 | 薬剤や鎮静の影響が疑われる場合は条件を記録し、AVPUだけで原因を決めません。                     |

## 5. 評価・再評価の記録

| 患者名 / ID |        | 評価者  |      | 評価場面 |              | 記録日   |       |
|----------|--------|------|------|------|--------------|-------|-------|
| 日時       | 刺激前の状態 | AVPU | 刺激条件 | 反応内容 | ABCDE / 原因確認 | 対応・共有 | 前回との差 |
|          |        |      |      |      |              |       |       |
|          |        |      |      |      |              |       |       |
|          |        |      |      |      |              |       |       |
|          |        |      |      |      |              |       |       |

1行記録の型：AVPU： [A/V/P/U] 。 [刺激前の状態] 、 [刺激条件] で [開眼・発声・運動などの反応] 。 [前回との差] 、 [実施した安全確認・対応・共有] 。

参考：WHO-ICRC Basic Emergency Care（AVPUの定義、P/UではABCDEへ戻る） <https://www.who.int/publications/i/item/9789241513081>  
Queensland Health AVPU Assessment Tool： <https://www.health.qld.gov.au/clinical-practice/guidelines-procedures/clinical-pathways/residential-aged-care-clinical-pathways/racf-resident-assessment-tools/AVPU-Assessment-tool-for-conscious-state>  
Glasgow Coma Scale - Structured Assessment： <https://www.glasgowcomascale.org/gcs-aid/>

※本シートはAVPUの評価・記録を補助するものです。刺激方法・再評価頻度・緊急対応は施設のSOP・急変対応手順を優先してください。